

本文

※例文は学習用です。

- ① 信而見疑、忠而被謗。／信にして疑はれ、忠にして謗（そし）らる。
- ② 匹夫見辱、拔劍而起。／匹夫辱（はづか）しめらるれば、劍を抜きて起つ。
- ③ 年四十而見惡焉、其終也已。／年四十にして惡（にく）まるれば、其れ終らんのみ。
- ④ 盆成括見殺。／盆成括（ぼんせいかつ）殺さる。
- ⑤ 兄被尚書召。／兄、尚書に召（め）さる。
- ⑥ 寡人不祥、被於宗廟之祟。／寡人不祥にして、宗廟の祟（たた）りを被（こうむ）る。
- ⑦ 為郷里所患。／郷里の患（うれ）ふる所と為（な）る。
- ⑧ 吾屬今為之虜矣。／吾が属（ともがら）、今に之（これ）が虜（とりこ）と為らん。
- ⑨ 衛太子為江充所敗。／衛の太子、江充（こうじゅう）の敗る所と為る。
- ⑩ 先即制人、後則為人所制。／先んずれば即ち人を制し、後（おく）るれば則ち人の制する所と為る。
- ⑪ 勞力者治於人。／力を勞する者は人に治めらる。
- ⑫ 通者常制人、窮者常制於人。／通ずる者は常に人を制し、窮する者は常に人に制せらる。

設問

1. 傍線部「見疑」（①）の読みを、送り仮名も含めてひらがなで答えよ。
2. 「被謗」（①）を書き下し文に直せ。
3. ②「見辱」を現代語訳せよ。
4. ③「見惡」の読みをひらがなで答えよ。
5. ④「盆成括見殺」を書き下し文に直せ。
6. ⑤「被尚書召」について、次の各問いに答えよ。
 - (1)「召」の読みを送り仮名も含めて答えよ。
 - (2) 全体を現代語訳せよ。
7. ⑥「被於宗廟之祟」の「被」の読みをひらがなで答えよ。
8. ⑦「為郷里所患」の「為」「所」は、合わせて何という受身の句法を構成するか。記号で答えよ。
 - ア 為A所B イ 見B於A ウ 被A為B
9. ⑦「為郷里所患」を書き下し文に直せ。
10. ⑧「為之虜」を現代語訳せよ。
11. ⑨「為江充所敗」を現代語訳せよ。
12. ⑩「後則為人所制」について、次の各問いに答えよ。

○ (1) 書き下し文に直せ。

○ (2) 現代語訳せよ。

13. ⑪ 「治於人」の「於」のはたらきとして正しいものを、次から選び記号で答えよ。

○ ア 比較（～より） イ 受身（～に……される） ウ 場所（～において）

14. ⑪ 「治於人」を現代語訳せよ。

15. ⑫ 「窮者常制於人」を現代語訳せよ。

16. ⑫ 「制於人」の読みを、送り仮名も含めてひらがなで答えよ。

17. ①の「見」「被」は、いずれも何という句法を表すか。漢字二字で答えよ。

18. 受身を表す語として、本文中に用いられているものを「見・被・為～所・於」の中からすべて挙げよ。

19. 次のうち、受身の意味を含まないものを一つ選び、記号で答えよ。

○ ア 信而見疑 イ 為郷里所患 ウ 先即制人 エ 勞力者治於人

20. 「見」「被」を用いた受身と、「為A所B」を用いた受身の違いを、書き下し文の読み方の観点から二十字程度で説明せよ。（記述）

21. 「動詞＋於＋名詞」の形が、受身の意味になる場合と場所を表す場合とで、現代語訳はどう異なるか。簡潔に説明せよ。（記述）